

令和 7 年度 ヘルパセンターサインの取り組み

職場環境等要件

区分	内容	具体的内容
入職促進に向けた取り組み	①法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	①社内 SNS フォルダ内に、法人のケア方針等をアップし、いつでも内容を確認できるようにしています。
	④職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催による職業魅力度向上の取り組み	④就業前の不安解消、業務内容の確認の為、希望者には採用前職業体験を実施します。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑤働きながら資格取得を目指すものに対する資格取得支援を制度化する。	⑤資格取得を目指す者に対して法人で定めた制度により研修受講費用、資格取得受験費用の補助をします。
	⑦エルダー・メンター制度等導入	⑦法人内エルダー制度を導入し、仕事やメンタル面のサポートをしていきます。
両立支援・多様な働き方の推進	⑩職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度を整備する。	⑩年度内の面談にて非正規職員へ今後の仕事に関するビジョン等を確認していきます。
	⑪⑫有給休暇取得促進の為、情報共有や複数担当制等により業務配分の偏りの解消を行っている。	⑪⑫複数のサービス提供責任者配置することで業務の偏りの解消を行っていきます。 有給休暇 5 日取得 100%を目指し取得日数の管理と取得に向けた声掛けをしていきます。
腰痛を含む心身の健康管理	⑭短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・従業員の為の休憩室の設置等健康管理対策の実施	⑭就業時間問わず健康診断を受けられます。婦人科健診、オプション健診等をスムーズに受けられるよう費用を会社で負担します。休憩室には横になれるソファを設置します。
	⑯事故、トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	⑯事故、トラブルへの対応マニュアル作成し、社内 SNS にアップすることでいつでも内容を確認できるようにしています。
生産性向上のための取り組み	⑰業務改善活動の体制構築	⑰業務改善委員会を立ち上げ課題の確認、改善策について検討し、事業所スタッフ全体に対して指示できるようにします。
	⑳介護ソフト、情報端末の導入	⑳介護ソフトによる記録、社内 SNS による情報共有を行っています。また、情報端末としてタブレット、スマートフォンを導入し業務量の削減をしています。
	㉑介護ロボット、ICT 機器の導入	㉑社内 SNS ツールを使用し職員間の連絡調整の迅速化を図っている。
やりがい・働き外の醸成	㉒利用者本位のケア方針など介護保険法や法人の理念を定期的に学ぶ機会の提供	㉒研修の年間計画の中に介護保険制度、利用者本位のケア等の研修項目を設定し受講します。
	㉓ケアの好事例や、利用者やその家族から謝意等の情報を共有する機会の提供	㉓家族等からの謝意等の情報について受けたものが社内 SNS アップし、社員全体で共有できるようにしています。